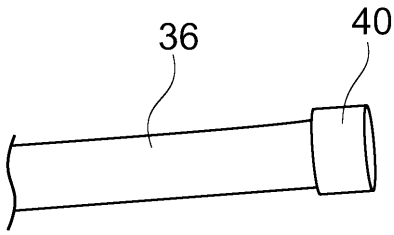
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【公開番号】特開2007-244096(P2007-244096A)
【公開日】平成19年9月20日(2007.9.20)
【年通号数】公開・登録公報2007-036
【出願番号】特願2006-62905(P2006-62905)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｋ　3/50　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｋ　3/50　A

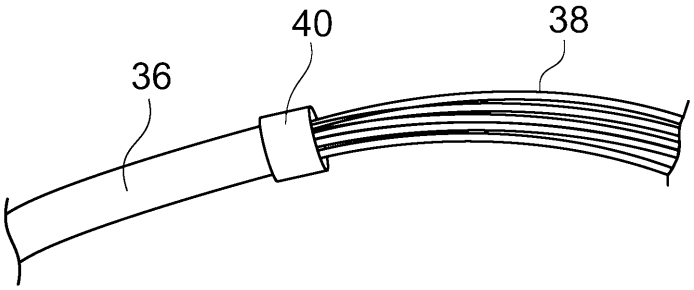
【手続補正書】
【提出日】平成21年4月10日(2009.4.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
環状に形成されたステータの内周側に配置されるハウジングインナと、該ハウジングインナに固定され、可撓性を有する長尺の可撓体とを備えた電動機において、前記ハウジングインナの外周面に形成された凹部と、前記凹部に装着可能に形成された可撓体固定部材とを備え、前記可撓体固定部材は、前記凹部に装着可能に形成された湾曲部と、前記湾曲部の一端側に前記湾曲部を間にして形成された一対の固定部材支持部と、前記湾曲部の他端側に前記湾曲部を間にして円弧状に形成された一対の可撓体支持部とから構成され、前記可撓体固定部材は、前記湾曲部が前記凹部に装着されて、前記ハウジングインナに固定され、前記可撓体は前記一対の可撓体支持部で支持されてなることを特徴とする電動機。
【請求項２】
前記可撓体の外周の一部には、前記一対の可撓体支持部との接触によりその移動が阻止される段差が形成されてなることを特徴とする請求項１に記載の電動機。
【請求項３】
前記段差が前記可撓体の端部外周に被覆される接着剤付き熱収縮チューブにより形成されてなる請求項２の電動機。
【請求項４】
前記凹部は前記湾曲部が装着される第１凹部と、該第１凹部と交差し、前記固定部材支持部が収まる第２凹部とを有する請求項１乃至３のいずれか１項記載の電動機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図３
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図３】

(a)



(b)



(c)

